

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 消化器癌における発癌・再発に関与する因子の検索</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 消化器・肝臓内科（研究責任者） 森山 光彦</p>
<p><研究期間> 承認日 ～ 西暦 2025年 7月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 肝癌・胃癌・膵癌・大腸癌について、切除された癌部および非癌部組織および血液から遺伝子発現量ないしはタンパク発現量を解析し、癌の病態および再発との関連性について検索する。またこれらの癌発生の危険因子である胃および大腸腺腫、胃炎・膵炎・慢性肝炎・肝硬変例の組織あるいは血中より、上記遺伝子の発現を同様に検索する。これらの解析結果から新しい癌発生の予知・予防法を確立することを目的とします。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 残余血清、生検検体、切除検体、診療記録の情報を用います。</p>
<p><対象となる患者さん></p> <ol style="list-style-type: none">20歳以上の当施設において、肝がん、胃がん、大腸がん、膵がんにて外科手術を施行された方20歳以上の当施設において、慢性肝炎・肝硬変の方、胃および大腸腺腫の方、慢性膵炎の方、炎症性腸疾患の方凍結保存組織、残余血清の使用が可能な方
<p><研究の方法> 切除あるいは生検により得られたがん組織・非がん組織の一部、また残余血清を用い以下の検査を行います。 (1) 癌部および非癌部組織、血液より症例ごとに RNA を抽出します。この RNA を用いて PCR 法にて、RUNX3、ICAM-1、CDT1、Hepcidin、Ferroportin 等をまず検出します。その後 real-time PCR 法を用いて各々の遺伝子量を測定します。この遺伝子量とがん病態との関係について検索します。 (2) 癌部および非癌部組織を用いて上記遺伝子の抗体を用いて酵素抗体法を施行して、タンパク(抗原)発現を半定量的に検出します。この発現量と病態との関係を検索します。 (3) 腺腫、慢性肝炎、肝硬変、胃炎、膵炎の方からの血液を用いて、上記 1)および 2)と同様に、mRNA 遺伝子量を検出して累積発癌率を検索します。</p>

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

消化器・肝臓内科

氏名:森山 光彦

電話:03-3972-8111 内線:2420

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)